

浜松市議会 Hamamatsu City Assembly

自由民主党浜松通信

発行責任者 戸田 誠 編集責任者 稲葉大輔 印刷 杉森印刷株式会社 2022年度後期発行

政令市
第32号



令和5年度当初予算に関する要望書を提出

令和5年度 政策要望 <令和5年度予算編成について>

- コロナ感染症対策、物価高騰対策を含め、各所管個別計画の年度計画が確実に実施される予算編成を行うこと。
- 臨時財政対策債は、市債であるが全額交付税措置されるものであることからプライマリーバランスの対象から外し、積極的に市債を活用して事業を行うこと。
- 行政区再編が予定されていることからも、将来を見据えた地域のバランスに配慮した予算措置を講じること。

安心して暮らせるまち

- 異常気象に強いインフラ整備など防災力の強化
- 交差点改良など交通事故ワースト1からの脱却
- 交通空白地対策の推進

誰にも思いやりのあるまち

- 医療資源偏在の解消と介護・障害者支援の充実
- 自治会などのコミュニティ支援の推進
- 地区社会福祉協議会の活動支援

人も自然も共生するまち

- 外国人や男女共同参画などUD推進
- 生物多様性の保全
- 再生可能エネルギー導入促進など地球温暖化防止対策の推進

しなやかにたくましく、すこやかな育ちの叶うまち

- 就学前待機児童の解消や放課後児童会の拡充
- いじめ対策防止策および児童虐待防止策の強化
- 学校教育施設の設備更新

誰もが輝けるまち

- 企業誘致の推進にむけた事業用地の確保
- 農林水産業支援の拡充
- インバウンド観光誘客の推進

身近な行政・温かみのある行政で市民満足度が高いまち

- 市民満足度を上げる財政出動
- 中山間地域への支援
- 歴史・文化・スポーツ施設の整備

大きな時代の変換点に際して

自由民主党浜松会長 戸田 誠



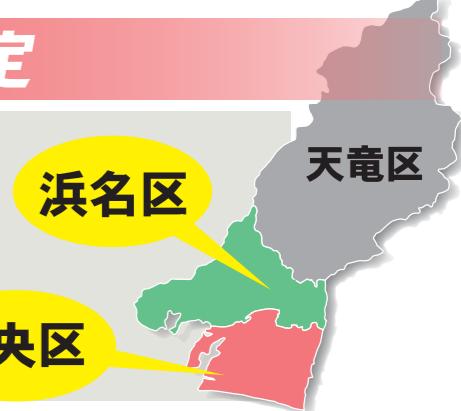
9月議会で令和3年度の決算についての審議を行い、新型コロナウイルスが蔓延して混沌とした中でも黒字決算になったことは評価できるものの、将来負担比率はマイナス42%と将来への投資がなされていない状況は現役世代に負担を強いていることで、平等性を欠くため、適切なインフラ整備は行うべきと指摘したことを含め、他5件の指摘をさせて頂きました。

11月1日に行われた行政区画等審議会で新しい区名を「中央区」「浜名区」と答申を受け内定となりました。また、10月25日には、鈴木市長が不出馬を表明されたことで、区が変わること、市長が変わることで今後大きな変化が起きると考えられます。皆様にはご不便を掛けないように対応するのが我々の責務です。しっかりと準備をしてまいりますので、今後も引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

新区名は「中央区」「浜名区」に内定

行政区再編は3区案となり、市民の皆様から募集したA区7案、B区7案について市民アンケートを実施し、51,575通の投票をいただきました。このアンケート結果を尊重し、新区名は「中央区」「浜名区」「天竜区」を提案、行政区画等審議会で提案通りの答申をうけました。

今後、令和5年2月議会での条例議決を経て、令和6年1月1日から、新たな区名での運用が始まる予定です。



スマホ通報システム「いっちゃん！」リニューアル！

「浜松市土木スマホ情報システム「いっちゃん！」が10月1日(土)から浜松市公式LINEアカウント「しゃんべえ情報局」より通報する新システムにリニューアルされました。

(1)システム概要

- スマートフォン等を利用して道路上の危険箇所や要修繕箇所を発見した際、写真や内容を送信し、通報することができるシステムです。

(2)利用方法

LINEアプリがインストールされていない方はこちらからインストールしてください。